

永年にわたる功績により受賞！ 「全国町村議会議長会創立70周年記念表彰」

本議会から、町議会議員として30年以上在職し、地方自治の振興及び住民福祉の向上に貢献してこられた中原裕祐議員と馬上勝登元議員が、全国町村議会議長会会長から表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



中原 裕祐 議員



馬上 勝登 元議員



▲大瀬戸議長から表彰の伝達を受ける中原議員（右）

Q 〈沖田 ゆかり 議員〉 男女共同参画の推進を

A 〈町長〉
さらなる男女共同参画社会の形成促進に努めていく。

〔Q1〕 熊野町防災会議の委員に女性がいないが、国の目標は令和2年までに女性委員を30%以上としている。熊野町においても、平成30年7月豪雨災害を踏まえ、男女共同参画の視点に立った防災復興体制の確立を目指し、防災会議に女性の登用をしていただきたいが。

〔A1〕 平成24年から本来2年の任期ということですが更新されなければいけないが、会議が開催されていないため、委嘱をしていない。近々防災会議を開催するので委員の中に女性が含まれるよう配慮をし、目標値に近づくよう委員の構成も見直していく。

〔Q2〕 男女共同参画の行政担当窓口は、県内23市町の中で教育委員会が担当になっているのは熊野町だけである。男女共同参画については町全体で取り組むべきではないか。

〔A2〕 議員ご指摘のとおりだと思っている。今後、事務組織の在り方を研究し、検討していく。



Q 都市計画マスタープランの新峠線構想は

A 〈町長〉
バイパス事業・災害復旧等の目途が立つ2、3年後には、検討会議を設けて正式に国・県へ要望を上げる。



尺田 耕平 議員

〔Q1〕 新峠線は、平成24年策定の都市計画マスタープランの図の中で明記された、初神地区から安芸バイパス東海田インターチェンジ付近へ新たな幹線道路を建設する構想である。本町では平成17、20年にかけて国や県へ積極的に働き掛け、国が大きな予算を掛けて調査をするところまで漕ぎ着けたと聞いている。何故、平成21年以降働き掛けをやめたのか。

〔A1〕 技術的に実現は難しいと熊野町が判断し、働き掛けは行っていない。

〔Q2〕 東広島バイパスの広島市安芸区中野と海田町の境付近は山に接しているが、そこへ接続した場合、高低差の問題、用地取得費・移転補償

費の問題等で町・住民ともに負担が軽減できないと思うかが。

〔A2〕 工事費については試算していないが、移転費用等については、かなり抑えられると思う。

〔Q3〕 私は東京へ行って、直接このことを国土交通省の担当者に聞いたが、「まずは、町でしっかりと意見をまとめる必要がある」とのことだった。絵に描いた餅にならないように、次期総合計画や都市計画マスタープランに文章でしっかりと明記していただきたいが。

〔A3〕 内容を十分検討して、文章で記載できるかどうかを考えている。

ようこそ熊野町へ ～行政視察を受け入れました～

2町の議会が平成30年7月豪雨で被害を受けた熊野町の、防災に関する取組状況や、被災地の復旧状況等の行政視察のため来町され、町担当部及び議長、総務厚生委員長が対応しました。

- 令和元年10月23日（水）
三重県川越町議会
・ 防災対策の取り組みについて
・ 被災地の復興状況及び現地視察について



▲新設した避難路の視察（川越町）

- 令和元年11月21日（木）
三重県朝日町議会
・ 平成30年7月豪雨災害の状況と災害における事前対策について
・ 発生時の避難所運営と現在の復旧・復興状況について



▲被災地の復旧状況確認（朝日町）

調査においては、2町の議会と要支援者への対応、避難所でのペット分離、小・中学校の防災教育、大原ハイツ避難路新設に至った経緯などについて意見交換を行いました。